

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp
Eメール info@jaichi.jp
TEL 052 916-2251
FAX 052 916-2308

2010 9 25
No. 1012

発行責任者 伊藤 慎次 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

10・22全県労働者
決起集会

10月22日(金)18:30~
名古屋市・若宮広場



すべての分会で総対話にとりくむ豊橋市職労



マイナス人勧はね返し 秋の総対話・総学習スタート!

「2年連続のマイナス人勧をはね返そう」といま、各単組で、秋季年末闘争の総学習・総対話運動がとりくまれています。要求の前進をめざし、全組合員参加を追求、すべての職場で総学習運動をすすめましょう。

賃金・人員増を勝ちとろう

生活改善につながる 賃上げを 橋市職労

豊橋市職労で、秋の総対話運動(職場集会)がスタートしました。秋季年末確定闘争での要求前進に向け、すべての分会で、闘争方針案を討議し、要求書に反映させる運動です。

9月22日には学校用務員分会で総対話(職場集会)

が行われ、役員から「10人勧」の問題点や、生活改善につながる賃上げと安心して働くことのできる人員・職場改善をめざし、公務員攻撃をはね返すために、住民のくらしを支える市役所をめざし、仕事の見直し

秋年闘争の前進にむけ県本部第1回中央委員会が9月17・18日、犬山市で開催されました。

10秋季年末闘争は、要求課題でも政治的課題でも、2013年の定年延長や協約締結権付与などを見据えた重要なたたかいとなります。2年連続の賃金・一時金の削減、年齢差別の不当な賃下げ勧告は、労働者全体の賃下げサイクルを強めるものです。新自由主義的構造改革を抜本的にあらためるたたかいは、国民・労働者とともにすすめます。

住民サービスの向上 労働条件の改善を 山犬市職労

犬山市職労では、秋闘で組合員全員を対象に、「情勢」や「人事院勧告」等の理解・問題点等の学習、「各職場が抱えている問題点」などを出し合い検討する職場学習会を行います。

職場学習会では各職場の代表である中央委員が出欠確認表を提出し、職場要求の取りまとめの中心となります。就業時間後1~2時間程度実施、平均参加率は約85%です。

学習会の参加者からは、「正規職員を増やしてほしい」「冷暖房を時間外も入れてほしい」「保育園が老朽化している」といった声が多く聞かれました。

10秋季年末闘争の前進めざし

県本部第1回中央委員会

方針では、①労働基本権回復を展望し、自治体公務員公共業務に働くすべての労働者を視野に、政府・財界総がかりの人員削減を許さず、産別統一闘争を軸に

人員・権利・賃金闘争の発展をめざす、②国の責任放棄と地方への丸投げをすめる「地域主権改革」に反対し、憲法をいかし地方自治の拡充を住民とともにめざす、③すべての要求と課



就業後各職場で学習会・犬山市職労

説明を行いました。参加者からは、「10人勧を阻止しよう」や「再任用制度の取り扱いが職場ごとにちがう。退職後の雇用に不安を感じる」などの声が出されました。

10月6日の中央委員会(要求書の議決)までに、すべての分会での総対話を開催するよう準備し、全組合員の声と力を結集して要求前進を勝ちとる決意です。

市民サービスの向上と自分たちの労働条件の改善を図るため、また組合員が参加しやすい、意見を出しやすい、魅力ある職場集会になるように工夫をしながら実施していきたいとしています。

出基準日、同14日を回答指定日とし、22日を全県決起集会。10月25日から統一交渉ゾーンとして、要求の前進をはかることなどを確認。各単組のとりくみや、運動と組織の前進にむけた意思統一を行いました。

また、「地方主権改革と自治体」をテーマに、樹神成三重大学教授から講演を受け、「住民自治の変質や、二代表制を否定し首長の権限の強化」など地域主権改革の問題点が明らかにされました。

月例給・一時金の 大幅引き上げを 県人事委員会に要請

愛労連・公務共闘・自治労連は14日、今年の人事委員会勧告にむけて県人事委員会に要請を行いました。

名古屋市の国の10倍以上の賃下げ勧告を行ったことをふまえ、同じ調査に基づく県人事委員会には「追随せず、月例給および一時金を引き上げ」「自治体職場の最低賃金を1000円以上に」することを要請しました。

担当者からは「名古屋市の勧告はレアなケース」「県は例年通りの方法で検討している」と回答がありました。

愛労連からは、今年度の最低賃金が全国平均で17円以上の引き上げとなることから、非常勤職員の賃上げについても言及すること、少なくとも最賃引き上げ額以上の賃上げを行うよう要請しました。

自治体に働く職員の 安全衛生研修会

・日時 10月13日(水)13:15~
・場所 金山・労働会館
東館ホール

「言いたい劇場」 小菅りや子



自治労連共済の
火災共済は安い！
1口(耐火) 保障額
2.5万円/月で最高10万円



写真上/朝市で「住民直接請求」宣伝行動
写真右/とりくみ後のマスコミ会見



住民が主人公の市政実現へ ひきつづき運動強める 合併強行の西尾市長解職請求届かず

合併の是非を問う、住民直接請求の願いが、7月に開かれた臨時市議会でも否決されたのを受け、とりくまっていた西尾市長のリコール運動は、9月16日の最終集約の結果、有権者総数の27・10%（2万2456人）で、リコール必要数の2万7622人に届きませんでした。

これは、西尾市の神原市長が、来年3月の幡豆郡3町との合併をめざし、議会での合併議案を強行しようとしていることに対して、「西尾市・幡豆郡3町の合併問題を考える会」など市民団体が、住民置き去りの

自治体合併は許せないと住民投票の実施を求めて5月に1万9千人（法定必要数の11・5倍）の署名を提出して来ましたが、ところが住民投票は必要ない」と、市長・議会が否決したため、市民3団体が、8月12日から9月11日までの1カ月間、市長リコール運動にとりくんで来たものです。



2日間でのべ4513人。全国の仲間と交流

公契約の適正化が市民生活守る

愛労連公契約運動学習会

9月19日、金山・労働会館で70名が参加し愛労連公契約運動学習会が開催されました。

伊藤桂一全労連調査局長から「公契約適正化運動の到達と今後の課題」の講演があり、競争入札で低賃金不安定雇用が広がっていることなど公契約で発生している問題点を指摘。公契約適正化の運動の事例を野田市や国分寺市、川崎市の事



例をもとに紹介。契約によって「自らの行動を正す」手法が強調されました。

特別報告では豊橋市職労の委託労働者アンケートで自治体の委託労働者の労働条件の劣悪さを明らかにしたとりくみや、民事法務協会組合の市場化テストの弊害や建交労・清掃委託現場の競争入札による労働条件悪化の報告がされました。

学習会では、公契約の適正化が市民生活を守る取り組みになることが確認されました。

草の根から運動を呼びかけ

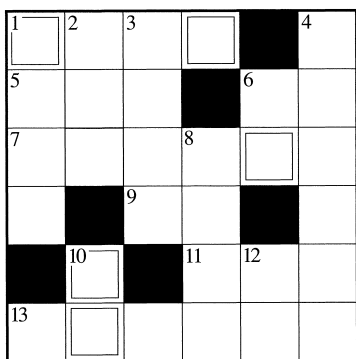
第24回日本高齢者大会

9月13・14日と茨城大学（水戸市）などを会場に37の学習講座や分科会が開かれた第24回日本高齢者大会には、全国から2286人の高齢者が、自治体愛知退職者会からは7退職者会20人が参加しました。

基調報告にたつた山田栄作・大会中央事務局局長は、「どん底」といっていい貧困が広がり、高齢者の生活を直撃している、と指摘

①「まちから村からの連帯で、ひとりぼっちの高齢者をなくそう」の立場で地域や団体での活動にとりくもつ。②後期高齢者医療制度の即時廃止と介護保険制度の抜本改善の実現などの運動を強化しよう。

クロスワードパズル



【ヨコのキー】①不和。——が生じる ⑤物事の分かれ目。生死の——をさまよう ⑥〇〇栗 ⑦外国から輸入した米 ⑨末。終わりの ⑪邦画の対 ⑬骨の成熟や化骨の状態を年齢で表したもの

無慈悲 ④交互、代わる代わる。——に並べる ⑥〇〇すぐに来い ⑧——で塗り絵 ⑩利〇〇。失業〇〇 ⑫〇〇に〇〇たヒット商品

単組定期大会 役員紹介

●瀬戸市職労（9月15日）
執行委員長 下山 泰彦
副執行委員長 梅野 泉
書記長 大塚 秀夫
書記長 加藤 徹
書記長 遠藤 勇

●一宮市職労（9月15日）
執行委員長 平山 勝子
副執行委員長 柳 進
書記長 渡辺 利雄
書記長 森 清隆
執行委員長 吉田 高弘

副執行委員長

●幸田町職労（9月22日）
執行委員長 藪田 芳秀
副執行委員長 太田 義裕
書記長 伊澤 正美
書記長 大須賀政直
書記長 早川 学

●当選者
1009号のクイズの答
宮地加奈子春日井市職労

●各務 芳只（名古屋市中職労）
伊藤 秀真（名古屋市中職労）
鈴木 美枝（豊橋市職労）
伊藤 友伸（豊橋市職労）
福井 洋子（豊橋市職労）
皆上 仁（蒲郡市職労）
片山 和政（西尾市職労）
竹内 直美（半田市職労）
鈴木 貴子（瀬戸市職労）
宮地加奈子（春日井市職労）

おたのしみ プレゼント クイズ

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場をハガキに書いて送ってください。抽選で10名に図書カ

1ド（10000円分）を贈呈します。
〒462-0845
名古屋市中区柳原3丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部 締め切りは10月29日必着。ハガキに必ず近況や職場での話題「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。